

## Business Environment and Performance 事業環境と実績



大久保 孝  
取締役  
THK (中国) 投資有限公司 総経理  
THK (遼寧) 精密工業有限公司 総経理

### Q 中国市場の全体の動向は？

**A** 2008年の秋に起きたリーマン・ショックの影響は、中国市場にも及んでおり、THKの中国における受注も2008年後半から急激に落ち込みました。しかし、先進諸国と比べて中国の回復スピードは非常に早く、2009年10-12月期には過去最高を更新し、その勢いは2010年1-3月期、4-6月期でも止まっておられません。とりわけエレクトロニクス関連や自動車関連などの設備投資が非常に活発になっています。

中国政府の経済対策として、従来の沿岸部だけでなく東北や内陸にも力を入れていることから、THKの受注も全国的に良好になっています。

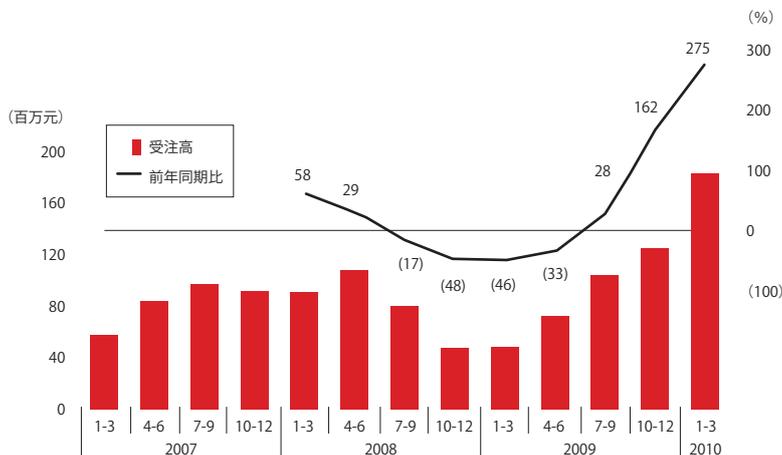
アジアの人口は、実に世界の6割にあたる40億人以上ですが、その中でも中国は世界最大となる13億人を抱えており、その消費力は莫大です。

そのような中、生産現場においては労働力不足により“自動化”がさらに進展しているように感じています。中国をはじめとしたアジア地域における今後の事業展開では、“自動化”が成長の一つの鍵になると考えています。

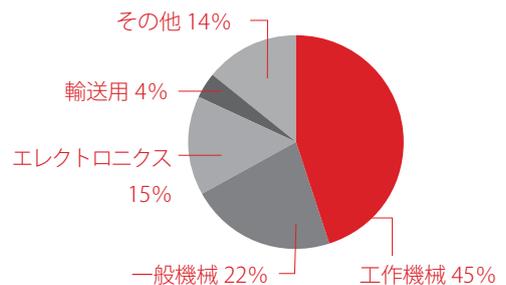
### Q これまでの中国における成果は？

**A** 1990年代から中国展開を開始しましたが、これまでの展開は上手くいっていると認識しています。THKでは、将来の中国市場の可能性を見据えて、中国国内で生産して中国国内で販売するという「需要地における製販一体体制の構築」を2003年から本格化させました。これは他社に比べて先行した取り組みであり、業界の中で中国に生産拠点を有しているのは、現在でも外資系企業ではTHKのみという状況です。また同時に、お客様に密着したサービスの提供を目指して、販売網の拡充を進めてき

THK中国(販社)ベースの受注高



2009年度THK(中国)売上高業種別構成比





木下 直樹  
THK(上海) 国際貿易有限公司 総経理

ました。そして現在、THKは中国市場においても、高い市場シェアを有することができます。製販がお互いに十分な意見交換をしながら、一体となって中国市場の開拓が図られていると感じています。

**Q 業種別の需要動向は？**

**A** 現在、中国における当社の成長を牽引しているのは工作機械向けであり、受注全体の約5割を占めています。工作機械に採用されているLMガイドは、以前から中国の大手メーカーへ納入してきましたが、新機種、新規顧客への採用が拡大してその数量が増加しています。

また近年、中国政府が掲げている国家プロジェクトとして鉄道事業があり、2020年までに16都市で100路線以上という計画が発表されています。車両やレールなどを加工する工作機械向けや、プラットホームに設置されるホームドア向けなどにおいて、当社製品の

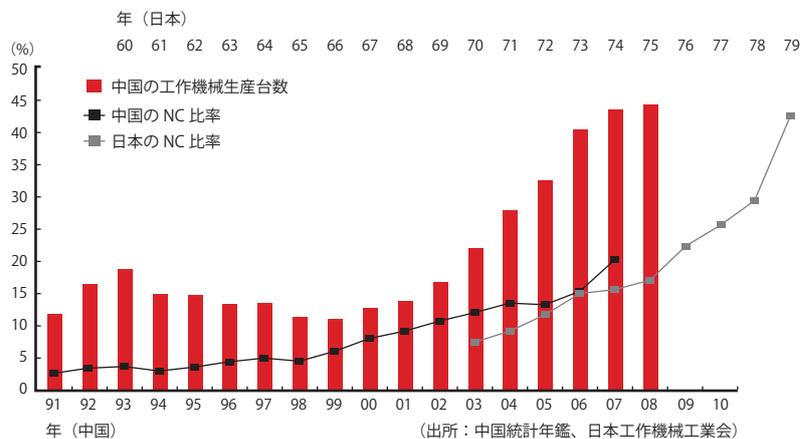
需要が拡大すると考えています。

さらに、今後国家レベルで強化されていくことが見込まれるエレクトロニクス分野向けにおいても、当社製品の需要が拡大していくと予想しています。

**Q NC工作機械に関する見通しは？**

**A** 中国で生産される工作機械のうち、NC(数値制御)の付いた高度な工作機械の割合(NC比率)は現在20%を超えた程度だと認識しています。NC工作機械の生産台数はここ2~3年で増加していますが、NC比率は大きく伸びていないと考えています。しかし、中国でも徐々に高機種に移行しているという現況を踏まえ、今後5~6年ぐらいでNC比率が急速に高まることが考えられます。NC化によって、当社のLMガイドやボールねじなどが確実に必要になってきますので、この点から見てもTHKには大きな成長の余地があります。

**中国工作機械生産台数とNC比率の推移**



## Competitive Advantage 競争力

### Q 事業体制に関する優位性は？

**A** 当社の中国における競争力は、前述の通り、「製販一体体制」を有していることにあります。既に19の販売拠点を有し、きめ細やかなサービスをお客様に直接ご提供するとともに、産業用機器関連製品を中国国内の3工場で、輸送用機器関連製品をTHKリズム（広州）で生産することで、幅広い製品群をタイムリーに供給できる体制が整っています。

また、2010年の4月には、今後の市場を見据えて、現地のニーズに対応した製品を開発するため研究開発部門を中国国内に設置し、中国における体制を磐石なものにしていきます。

### Q 販売面での優位性は？

**A** THKは、他社に先行して中国で事業を進めてきましたが、その歴史を重ねる中で現地採用スタッフが着実に育っています。人材を育成するには長い時間が掛かるため、THKが早期に中国展開をスタートさせたことは大きな利点となっています。

現在、そうした人材が営業スタッフとして各拠点できめ細やかなサービスの提供に努めていることが、中国の市場でもTHKがお客様に選んで頂ける大きな理由であると考えています。「いいものを作りたい」というお客様の声が年々増えており、今後は提案力がさらに重要視されてくると考えています。従って、単なるモノ売りではない、THKらしい提案営業ができるよう、日々人材育成に励んでいます。

### Q 生産面での優位性は？

**A** 生産面でも、高品質な製品を作るため、高性能な設備を導入して、「THK」という世界トップブランドに合うグローバル品質のモノづくりに取り組んでいます。

また、受注が急増している現在、この旺盛な需要を確実に取り込んでいくことにより、量産効果が図られています。今後も生産能力を増強するとともに、現有の設備を有効的に活用することにより、投資効率がさらに高められると見込んでいます。

### 中国の生産拠点



THK（無錫）精密工業有限公司



THK（遼寧）精密工業有限公司



大連THK 瓦軸工業有限公司



THKリズム（広州）汽车配件有限公司

## Initiatives Moving Forward 今後の施策

### Q 中長期的な目標と施策は？

**A** THKグループ全体では、連結売上高3,000億円という経営目標を掲げています。私たちは、今後も高い成長が期待されるアジア市場を舞台に活躍し、経営目標の達成に向けて大きな役割を果たしていきたいと考えています。そのために、引き続き中国を中心としたアジア地域における製販一体体制の強化を図っていきます。

まず生産面では、現地生産体制のもとで、コスト競争力のあるグローバル品質の製品を供給していきます。具体的に、コスト面では材料調達先の多様化を積極的に推進するとともに、生産現場でのスキル向上に努め、生産性の向上を図っていきます。

販売面では、拠点の拡充をさらに推進します。現在中国では19拠点を有していますが、早期に30拠点、2014年までには60拠点まで拡充する考えです。同時に、有力な代理店との関係強化を図りながら、地域密着型の展開を目指していきます。

また、THKではFAI事業部を中心に輸送用機器関連事業を展開していますが、アジア地域においてもFAI事業部と協同して自動車業界へ積極的なアプローチを図っていきます。

### Q 2010年度の施策は？

**A** 2010年度においても中長期的な戦略に基づいて各施策を着実に遂行します。とりわけ販売網の拡充と人材教育に注力します。販売網の拡充では、約10拠点を新設する計画です。また、人材教育については、現在、日本から営業スタッフを招引して同行営業を行っていますが、現地社員一人ひとりのスキルアップをさらに促進していきます。

また、2010年には研究開発部門をTHK中国の本社内に立ち上げ、生産や販売を含めTHKの技術力をさらに磨きあげて、高付加価値な製品を提供していきます。

2009年は世界経済の低迷により、苦しい時期を経験しました。しかし、苦しい状況でも積極的に活動した成果が現在、如実に表れてきています。中国は

今、驚くような早さで変化しています。街ゆく人々の服装が変わり、公共的な施設等も勢いを増して発達しています。日本から派遣された営業スタッフも、中国を中心とするアジア市場の成長性の高さを肌で感じ取っているようです。現地で働く一人ひとりがこのポテンシャルの高い市場で活動しているというプライドを持ち、一丸となって目標の達成に向けて邁進していきます。

### 中国での販売・生産体制の強化

- 販売拠点
- 新規開設予定

(2010年5月時点)

THKリズム広州

広州 ● 深圳

THK 中国

● 瀋陽

● 北京

● 天津

● 大連

大連 THK

THK 遼寧

● 濟南

● 青島

● 西安

● 南京

● 蘇州

● 上海

● 杭州

● 寧波

● 廈門